



INTERVIEW REPORT

# “TSUBONIWA”で表現する 企業の価値観

モベンシス株式会社は、ソフトウェアベースの  
モーションコントロールプラットフォームのプロバイダーです。

1996年に米国マサチューセッツ工科大学の研究プロジェクトから発足し、  
半導体分野からディスプレイ、二次電池、物流など、  
幅広い産業分野でモーションコントロールプラットフォームを提供しております。  
顧客に適した自動化ソリューションとシステムコンサルティングサービスを提供し、  
第4次産業革命をリードしています。

この度、モベンシス株式会社様のオフィス移転プロジェクトを  
「SOCIAL INTERIOR | オフィス構築支援」のサービスにて、プロジェクトマネジメント及び  
設計・デザインから家具導入までワンストップで担当させていただきました。

今回は、移転の経緯や、オフィス移転後の運用や反響を  
モベンシス株式会社 代表取締役社長の佐藤 恭祐様にお伺いしました。



## オフィス機能の充実を 目指して

**大 野：** はじめに、移転前に抱えていた課題や、移転のきっかけをお伺いできますでしょうか。

**佐藤様：** 複数の課題があったなかで、第一に挙げられるのがオフィスのキャパシティ不足です。社員数が急増していくなかで、座席数が足りなくなってきていたり、会議室が1つしか無いため使いたいときに使えず、社外の貸し会議室を頻繁に使ったりとオフィス機能に大きな制約がありました。

また、オフィス全体が雑然としており、ドアを開けたらすぐに執務室のような環境でした。社員のデスクがあるだけで、これといったコミュニケーションスペースも無いような状態です。

**大 野：** 主にオフィスの機能の部分に不足を感じていたんですね。他にも何か課題を感じていた点はあったのでしょうか。

**佐藤様：** もう一つの大きな課題として、アクセスやロケーションの問題がありました。事業の拡大に伴い、特にソフトウェア技術者の確保が重要になりました。しかしながら、以前のオフィスがあった立川のエリアではややアクセスが制約されているため、より優秀な人材を確保するためにアクセスが良好な新宿への移転が一つの選択肢としてあがったんです。

**大 野：** ありがとうございます。複数の課題を解決するための施策のひとつとして、移転を検討されていたんですね。

**佐藤様：** そうですね。あとは、弊社ではしばしばパートナー企業の方がオフィスを訪れ、技術的なディスカッションを行う必要があるのですが、そのための設備があまり整っていない状況でした。デザインの面も考慮に入れつつ、総合的にオフィスの機能を充実させたいという意図があったんです。

## トラディショナルと モダンの融合をテーマに

**大野:** 今回の移転で、弊社のサービスの導入を決めていただいた理由をお伺いできますでしょうか。

**佐藤様:** 今回、移転のデザインパートナーはコンペによって決めさせていただきましたが、参加企業の中で最も洗礼されたデザインを提案してくださったのがソーシャルインテリア様でした。日本らしい伝統的な和のイメージと、国際的な企業としての現代的なイメージが絶妙なバランスで表現されていて非常に好印象だったのが決め手です。

**大野:** 実際にオフィスを拝見しましたが、色調のバランスや使われている素材のセレクトにもこだわられたとても素敵な空間でした。では、弊社サービスに関して、特に期待していた点と反対に懸念していた点がありましたら教えてくださいいただけますでしょうか？

**佐藤様:** やはり最も期待していたのはデザインの部分ですね。ご提案いただいた通り素敵な空間に仕上げただけのだろうという期待感がありました。一方で、今回オフィス移転に関わる様々な企業と契約しなければいけない中で、全体の管理をどこまでやってくれるのかなという懸念がありました。しかし結果として、各企業の取りまとめやプロジェクトの進行管理など、しっか

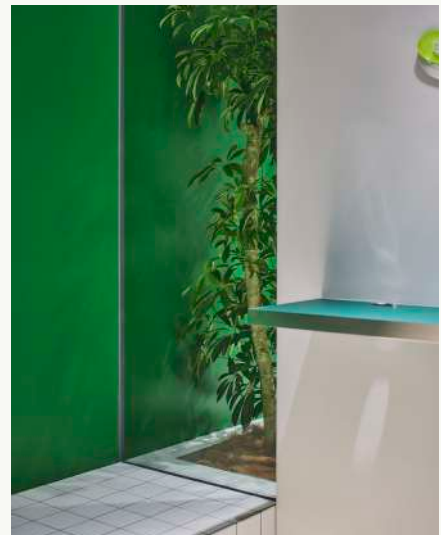
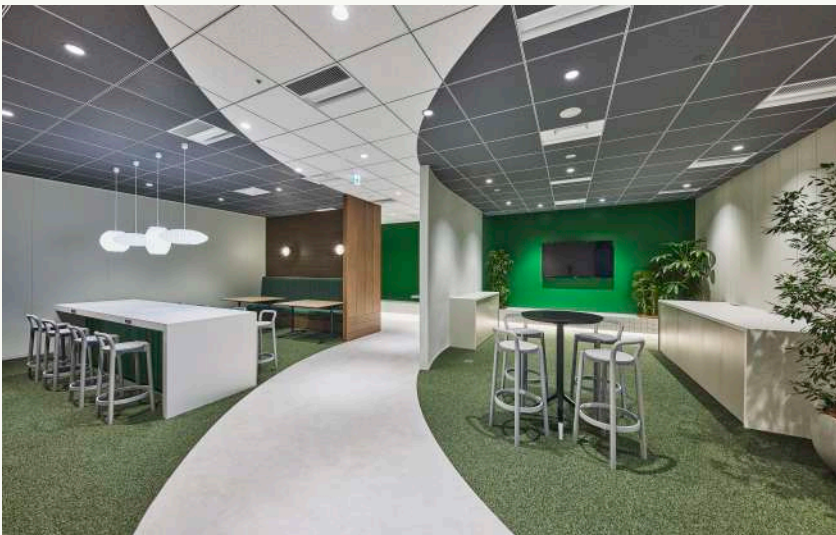
り責任を持って対応していただき円滑に移転プロジェクトを進められたので、全く問題ありませんでした。

**大野:** ありがとうございます。デザインの提案だけでなく、プロジェクトマネジメントの部分も評価いただき嬉しく思います。今回の移転におけるレイアウトや商品選定について、こだわった点や気に入っている点を教えていただけますでしょうか。

**佐藤様:** レイアウトは、ソーシャルインテリア様からご提案いただいたデザインをベースに具現化していきました。特に気に入っているのは、ショールームとしても利用している共用部分。パートナー企業とのディスカッションが重要なので、コミュニケーションのための場が素敵なデザインで設けられたことがとてもよかったと感じています。また、ショールームスペースに隣接する形でご提案いただいたカフェテリアスペースも、お客様との交流や社内コミュニケーションの活性化に寄与しています。

**大野:** どちらもカジュアルに使える雰囲気、コミュニケーションが生まれやすい空間でした。社員の方の利用率は思った以上でしたか？

**佐藤様:** はい、社員の利用率は予想以上ですね。たとえばランチの際、移転前は外に出るか自席で食べるかのどちらかでした。しかし現オフィスでは多くの社員が共用部分に集まって、会話をしながら食事を楽しんでいる光景がよく見られます。この変化は本当に素晴らしいと感じています。



## 社内外問わないコミュニケーションの場が誕生

**大 野:** そういった日々の会話が、業務にもよい影響を与えてくれそうですね。それでは、弊社の提案について、とくに印象に残っている点はどういったところになりますでしょうか。

**佐藤様:** ショールームを坪庭と見立てた共用部分の提案は非常に印象的でした。単純に丁寧に作りますよというわけではなく、日本の文化を取り入れたデザイン。それでいて古くさいわけではなく、弊社の企業イメージや事業に調和したモダンな要素も見事に組み合わさった絶妙なバランス感がとてもよかったですね。

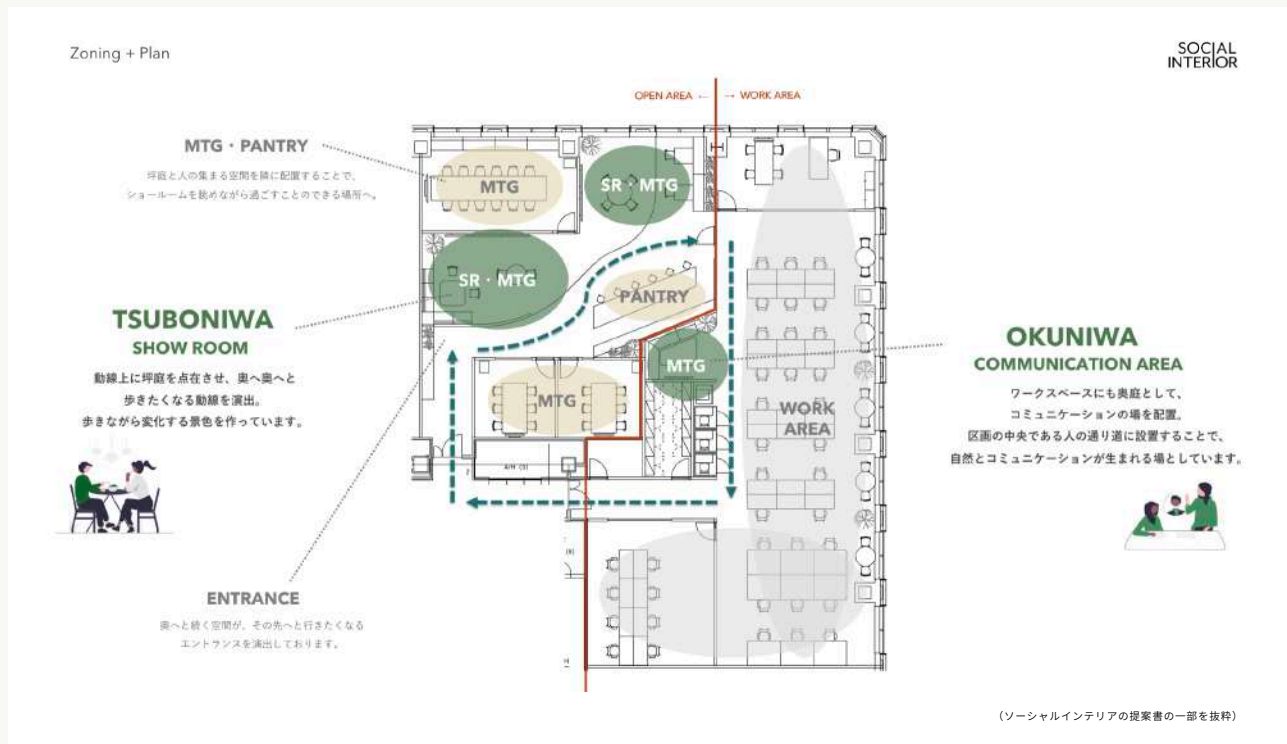
**大 野:** ありがとうございます。弊社の担当者もショールーム部分はとくにこだわりをもってデザインを検討したと述べておりました。具体的には、古きよき日本の空間を演出するために、グリッドのシステム天井をあえて残して格子を想起させたり、巾木を大きくすることによって日本の伝統的な家屋の連想させています。同時に、間接照明やSUSを小口や見切り材に使用することで、モベンシス様らしい機械的なイメージを織り交ぜ、細部までこだわりを持ってデザインしています。

**大 野:** 移転後の効果や反響について、ご共有いただけますでしょうか。

**佐藤様:** 先日開所式を行い、約50名ほどのお客様やパートナー企業の方々をご招待したのですが、新しいオフィスにお褒めの言葉や羨ましいとの感想もいただき、大変好評でした。オフィスのコンセプトが明確であり案内もしやすく、デモ機が整った環境なので、ディスカッションもスムーズに進めることができました。これからもどんどんオフィスをコミュニケーションの場として活用してしていくシーンが増えていくと思います。

また、以前は社長室や役員用のスペース、社員の執務スペースが区切られてたレイアウトになっていましたが、現在は執務室の壁を取り払ってオープンな設計になっているため、社員からの私への相談が増えたことも移転の効果かなと実感しています。

**大 野:** まだ移転から3週間経っていない中で、効果を実感いただけているのは嬉しい限りです。





**佐藤様：**最近ではリクルートエージェントの方もオフィスに訪れ、デザインやレイアウトに対してよい評価をいただいています。実際の採用面接はこれからですが、このオフィスであればリクルーターの方にも良い印象を与えられると自負しております。

**大野：**確かに、リクルーターにとってはオフィスが企業の印象を左右する大事な要素ですね。元々抱えていたオフィスに関する課題が解消されていて、素晴らしいと感じました。では、とくに想定していなかった、意外な効果などはありましたか？

**佐藤様：**当初の予定では、基本的に社員には執務室で仕事をしてもらおうと考えていました。しかし、オープンスペースが充実していて雰囲気も良いのでそちらで仕事をする社員が多くいたり、私自身も自席以外の場所で作業をすることもあります。たまに場所を変えることで気分転換にもなりますし、座る場所を変えることで新しいアイデアが浮かぶこともあり、クリエイティブな面でもプラスの影響を感じています。

## オフィス移転を 社員参加型のプロジェクトに

**大野：**オフィス移転を終え、今後さらに変化やアップデートを考えている点があれば教えていただけますでしょうか。

**佐藤様：**元々あった課題は解消されており基本的には満足していますが、今後に向けてラボ室の拡充を検討しています。現在、弊社のグループ会社が自律搬送型ロボット（AMR）の開発を進めており、適切にバックアップできる体制を整えていきたいと考えております。将来的には、ロボットを試験的に操作できるスペースが必要になってくるので、そこが今後のアップデートしたいポイントですね。

**大野：**アップデートしていくのも、オフィス構築の醍醐味ですよね。これからさらにモベンシス様らしい、素敵なオフィスになっていくのが目に浮かびます。それでは、今後のソーシャルインテリヤに対して期待することやメッセージがありましたらお伺いできますでしょうか。

**佐藤様：**先日、アフターサービスのお話を伺いましたので今後はそちらをメインに利用させていただくことになると思います。

やはり、新オフィスを運用してみないとわからない、気づかなかった点もこれから出てくるはずなので、今後もソーシャルインテリア様にご相談させていただきながら、よりよいオフィス環境を構築していければと思っています。

**大野：**ぜひ今後もお力添えさせていただければ幸いです。最後に移転を終えて、これから移転を控えている企業のプロジェクト担当者の皆様に向けて、アドバイスやメッセージをお願いいたします！

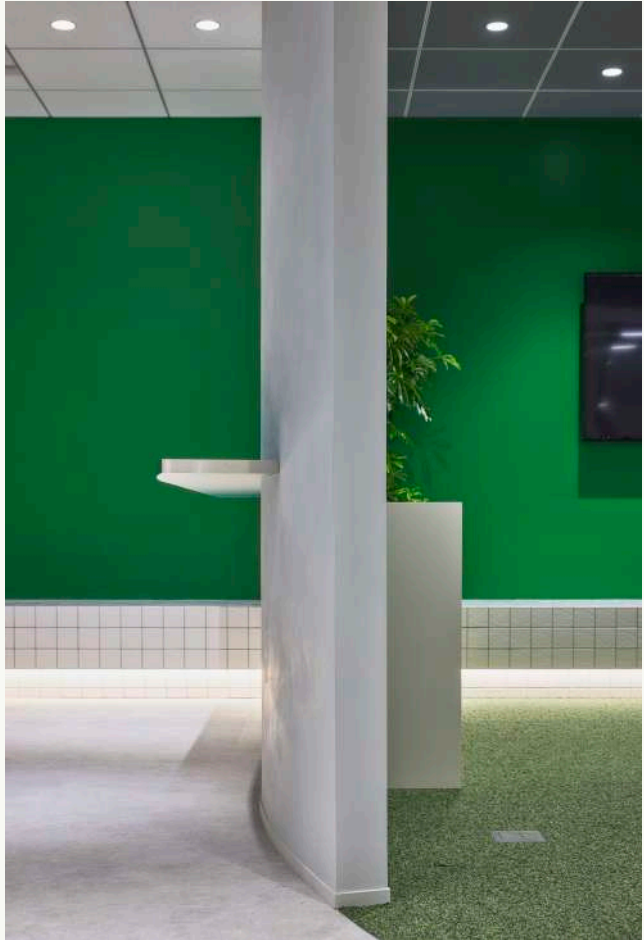
**佐藤様：**企業の規模感にもよりますが、ヒアリングを行い社員の声を反映させることが、計画の進行においても、移転後の働きやすさにおいても重要だと考えています。弊社の一例をあげると、会議室やスペースのネーミングを社員の公募で行い、採用されたメンバーにはギフトを送りました。一部のメンバーだけでなく、できる限り社員皆がオフィス移転のプロジェクトに参加できるように努めて、気持ちよく働ける環境を築くことが重要ですね。

また、企業のコンセプトや意図を汲みながら、現代のオフィスのトレンドを考慮した提案をしていただけるので、オフィス移転やレイアウトの変更を考えている企業の方は、ぜひソーシャルインテリア様を検討していただければと思います。きっと、働きやすい快適なオフィスを提案してくれることでしょう。

**大野：**社員の方がオフィス移転を自分ごとに考えられるような工夫、とても素敵です。より自分たちのオフィスに愛着が持てて、帰属意識も高まりそうですね。

また、弊社の提案・サービスについて、お褒めの言葉をいただき大変光栄です。これからも皆様にご満足いただけるような情報発信やご提案ができるよう、精進して参ります！この度はお忙しいところお時間をいただき誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。





## まとめ

今回は、モベンス株式会社 代表取締役社長の佐藤恭祐様に移転の経緯や、オフィス移転後の運用や反響を伺いました。モベンス株式会社は、今回の移転・レイアウト変更によって抱えていた課題を解決し、導入後のオフィス環境にもご満足いただいております。

現在、オフィスづくりに課題を感じているという方はぜひ一度ソーシャルインテリアにご相談ください。

---

## Profile



モベンス株式会社

代表取締役社長

佐藤 恭祐 様

---

お気軽にお問い合わせ  
合わせください

SOCIAL  
INTERIOR | オフィス  
構築支援

株式会社ソーシャルインテリア  
〒107-0061 東京都港区北青山 2-14-4 the ARGYLE aoyama 6F  
| e-mail | [is@socialinterior.com](mailto:is@socialinterior.com) | TEL | 03-6824-4568  
| URL | <https://socialinterior.com/>

URL QR

